



私たちの、私たちによる、
私たちのための美術館

2020年7月18日(土)～
2021年3月21日(日)

金沢21世紀美術館の「これから」を考える 「あなた」が主役の展覧会

展覧会名	私たちの、私たちによる、私たちのための美術館
会期	2020年7月18日(土)～2021年3月21日(日)
開場時間	10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)
休場日	月曜日(ただし8月10日、9月21日、11月23日、1月11日は開場)、 8月11日(火)、9月23日(水)、11月24日(火)、12月29日(火)～1月1日(金)、1月12日(火)
会場	金沢21世紀美術館 デザインギャラリー
料金	無料
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]

本資料に関するお問合せ

金沢21世紀美術館
事業担当: 立花由美子・高橋律子 広報担当: 齊藤千絵・石川聡子・落合博晃
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



展覧会について

2019年10月、金沢21世紀美術館は開館から15周年を迎えました。金沢市の中心部に位置する美術館は、「まちに生き、市民とつくる、参画交流型の美術館」を特徴の一つとし、これまで美術館活動を行ってまいりました。

時が経ち、当時は目新しく見えた美術館の存在も改めて意識することは少なくなってきたかもしれません。また15年の月日は美術館を取り巻く金沢の様子を大きく変え、特に観光地の一つとして有名になった美術館には多くの観光客が訪れるようになった一方、途切れない観光客の波に

押されて、金沢市民の「日常」とはだんだんかけ離れたものになってきているのかもしれない。

本展は、15年経った今改めて、「私たちの美術館」を「私たち」が考えるための機会です。「まちに生き、市民とつくる」という想いが込められて始まった美術館は、今の金沢の人々にどう映っているのでしょうか。またどんな未来を描くことを期待されているのでしょうか。様々な切り口から、今の「私たちの美術館」を問いたいと思います。

この展覧会を作るのは、アーティストではなく、ほかでもない金沢21世紀美術館の主人公である地域に住むみなさんや来場者の声。インタビューや「ミュゼミ」と呼ばれる金沢市民を対象に行うゼミを通して、これまでの美術館・これからの美術館について考える参加型の展覧会です。

美術館に来る人も、これから美術館の仲間になる人も、それぞれに「私たちの美術館」と思えるきっかけに、また美術館にとっても展覧会を通じて聞こえたみなさんの声からこれからの美術館を考える、そうした機会になることを期待しています。



撮影：渡邊修

開催にあたって

「私たちの思う『パブリック』は、本当のパブリックではない」

この言葉は、私がMuseum Studiesを修めに留学している時、インターン先の上司に言われたものです。つまり、我々美術館職員がどんなに社会のためになると思って企画したものであっても、受け手であるパブリックが必ずしもそう思えるわけではないことを忘れてはいけません。美術館職員は、常に美術館を作る「パブリック」の声に耳を傾け、時に身を浸し、本当に意義のある美術館活動を行っていかねばならないというものです。海外の美術館にはそのための部署もあり、そこでのインターン経験が私という学芸員を形づくりました。以来この言葉は私の支えとなっています。

金沢21世紀美術館に着任以来、様々な事業を通じて地域のみなさんに色々なことを尋ね、色々な考えを教えてもらっています。そうした経験が、今日の美術館活動の根っこにあることは言うまでもありません。しかしまだまだ出会えていない人が多くいることも事実です。彼らもまた美術館の主語になりうる「パブリック」であり、我々公立美術館は彼らの声にも耳を傾けていかねばならないと言えます。

この展覧会はそのような彼らも含めた美術館にとっての「パブリック」に耳を傾けるための機会です。この展覧会のアーティストは、まさに「パブリック」なのです。彼らとともに約9ヶ月間、すこしずつ展覧会を作ってみようと思います。美術館によく来る人も来ない人も、どうしたら「私たちの美術館」と思えるのでしょうか。一緒に考えて、作っていきたいと思います。

今日ミュージアムの定義を変えようと議論が進んでいます。しかしながら私たち美術館が「パブリック」とともにあることはこれからも変わらないであろうし、変わるべきではないと考えます。この展覧会は美術館にとってもその意識を改める、よいきっかけになることを期待しています。

立花 由美子（本展担当キュレーター）

展覧会の特徴

「私たちの美術館」を「私たち」が考える

金沢21世紀美術館を象る特徴の一つ「まちに生き、市民とつくる、参画交流型の美術館」は、開館15年を経て、いかに地域に浸透し、実態の変容を遂げたのでしょうか。本企画の真意は、ほかでもない市民の視点から、美術館のこれまでの歩みを振り返り、現状を問い直し、これからの未来図を描いていく試みにあります。

アーティストではなく、コミュニティが主役の展覧会

本展は、いわゆるアーティスト主導型ではなく、地域住民や来場者が主体となって徐々に形作られていく、プロジェクト参加型の展覧会です。約9ヶ月に渡って開催される市民を対象とした「ミュゼミ」や来場者から随時寄せられる、美術館の過去・現在・未来に対するリアルな声。これらが映像、音声、テキストとして公開され、日々展開される議論の過程を映し出すギャラリー空間は、来訪者をしなやかにその思考現場へと誘います。

美術館は誰のものか—真に「パブリック」な美術館であるための挑戦

「パブリック」性の実現は、すべての公共施設が抱える根源的な課題といえます。本企画は、この課題の本質と正面から向き合い、未だ出会えていない仲間の声に耳を傾け、対話を通して、誰もが自分たちの居場所だと思える真に「パブリック」な美術館を実現していくための、長いプロセスの出発点です。

関連講座
「ミュゼミ」

美術館のこれまでを振り返り、これからを描くために、「ミュゼミ」とよばれるゼミを開講し、みなさんと一緒に「わたしたちの美術館」についてあらゆる角度から考察します。金沢市民を対象に「ミュゼミ生」を募集します。

日時：毎月第3土曜日19:00～(ただし10月はワークショップのため変則的な開催となります)

場所：金沢21世紀美術館 会議室1 ほか

対象：20～39歳の金沢市在住者

料金：無料

定員：10名

※都合により、プログラムの内容を変更する場合がございます。

※募集時期や方法については、決まり次第、金沢21世紀美術館ウェブサイトにてお知らせします。

ミュゼミ

MUSEUM
SEMINAR

3

1講(7月18日) 「美術館をカンガエル」

15年経った今、改めて金沢21世紀美術館について考えてみませんか。

この15年、みなさんが大きくなったり大人になったりしたように、私たちも少しずつ変わりがら活動を続けて来ました。その中にはみなさんにとっていい変化も悪い変化もあったかもしれませんが、よかったこと、わかったこと、これまでの金沢21世紀美術館を振り返ります。

今こうした展覧会を持つことの意味、みんなで美術館を考えていくことの意味をお話しするとともに、みなさんと「金沢21世紀美術館」を考えたいと思います。

ファシリテーター：高橋律子(金沢21世紀美術館)

ホスト：立花由美子(本展担当キュレーター、金沢21世紀美術館)

2講(8月15日) 「美術館にサンカする」

金沢21世紀美術館に来たことがない人を美術館に呼んで、美術館に行く人・行かない人とともに「美術館に参加すること」を考えます。今美術館に来ていない人の根っこと美術館に来る人の根っこを比較し、金沢21世紀美術館が本当に「みんなの美術館」になるために、美術館は何をしていけばよいのか、みなさんと一緒に考えます。

ホスト：立花由美子(本展担当キュレーター、金沢21世紀美術館)

3講(9月19日) 「美術館をヒビョウする」

金沢21世紀美術館を批評してみましょう。批評とはネガティブな側面を指摘することではなく、発展的な議論のために良し悪しや是非について考えて自分の意見を表明することです。みなさんに今の美術館はどう映っているのでしょうか。1講・2講を踏まえて、どのようにしたら美術館の発展的な未来を描けるのか考えてみましょう。

ゲスト：NPO法人こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ

4講(10月24日/25日) 「美術館をケンチクする」

みなさんの理想の金沢21世紀美術館を作ってみましょう。これまでのミュゼミの議論を踏まえ、いままでの美術館の守りたいもの、これからの美術館に必要なもの、すべて詰め込んで「わたしの金沢21世紀美術館」を作ってみましょう。

みなさんが作った金沢21世紀美術館は、きっとこれからの美術館にたくさんの示唆を与えてくれることでしょう。

ゲスト：菅野圭祐(金沢工業大学建築学部建築学科講師)

5講(11月21日) 「私たちの美術館」

これまでのミュゼミの総まとめです。みなさんと描いた「わたしの金沢21世紀美術館」をみなさんの代理人である金沢21世紀美術館の学芸員に聞かせてください。ミュゼミを通して、これからも美術館と生きていくには、そしてわたしたち金沢21世紀美術館もみなさんと生きていくには何をしていけばいいのか。館長もまじえて、金沢21世紀美術館について考えてきたことを、腹を割って話し合しましょう。

広報用画像

画像1~3を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム▶ https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。